

目 次

【2年前期】	
体育理論	350～352
【2年後期】	
日本国憲法	353～355

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
体育理論	橋本 聖子	2	前期	講義	選択	1
	担当形態	単独	ナンバリング		CE2102	
	担当教員	橋本 聖子				
<b>【キーワード】</b>	<b>【概要】</b>					
1 生活習慣病	<p>現代社会では身体活動量の減少に伴い、生活習慣病の蔓延や子供の体力低下が懸念されている。また、同時に日本人がどのようにすれば明るく楽しく豊かな生活様式・生活の質（QOL）の向上を図ることができるかが課題となっている。生涯にわたり健康生活を維持することはQOLに貢献することができるためライフスタイルに活発な身体活動や運動を取り込むことを提案する。</p> <p>そこで「身体活動・運動と健康」に重点を置き、自身のライフスタイルを振り返り考察する。また、成長期から高齢期まで幅広い年代の特徴を踏まえ、身体活動が身体に及ぼす効果について科学的に理解を深めていく。※理解度や進行度により、授業内容を変更することもある。</p>					
2 QOL						
3 身体活動						
4 食生活						
5 ライフスタイル						
<b>【到達目標】</b>	<p>1. 身体運動が身体に及ぼす効果について科学的に理解できる。</p> <p>2. 生涯を通じて明るく豊かな生活を楽しむための体育・生涯スポーツの必要性について説明できる。</p> <p>3. 日常生活に運動を取り入れる習慣を身に付け実践できる。</p>					
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>						関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
<b>【思考・判断・表現】</b>						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
<b>【関心・意欲・態度】</b>						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						
<b>【成績評価の方法】</b>						
成績指標	定期試験・レポート		受講態度等		合計	
評価割合（%）	80		20		100	
<b>【成績評価の基準】</b>						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
<b>【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】</b>	レポート等を行い、それに対するフィードバックを当該レポート実施の次講義の初めに口頭で行う。					
<b>【教科書】</b>	必要に応じて資料配布を行う。					
<b>【参考書・参考資料等】</b>	随時紹介					
<b>【関連科目】</b>	「体育実技」					
<b>【受講心得】</b>	積極的に授業に参加し、学生として然るべき受講態度で臨むこと。					

【備考】		
保育士課程必修、幼稚園教諭課程必修		
【学習項目】	担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1 運動・スポーツ実践の基礎知識		<p>【学習内容】 講義全体のガイダンスと、運動や身体活動がヒトに及ぼす影響について簡単に説明する。</p> <p>【事前学習】 体育授業がなぜ大学生に必要なのかを考え、必要に応じて新聞や書籍、論文等を通じて調べてくる</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
2 運動と栄養 (エネルギー出納バランスの観点から)		<p>【学習内容】 運動と栄養の関係性について説明する。</p> <p>【事前学習】 運動の効果を促進するための栄養補給について考え、必要に応じて書籍や論文等を通して調べてくる</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める。また、日常生活活動への応用する</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
3 身体活動と健康 (自身のライフスタイルを振り返る)		<p>【学習内容】 身体活動と健康との関係を、先行研究の結果を紹介しながら説明する。また、生涯スポーツについての説明もする。</p> <p>【事前学習】 新聞や書籍、論文等を通じて、身体活動が健康に及ぼす何らかの肯定的な効果を調べてくる。</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める。また、日常生活活動への応用する。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
4 身体活動と体力 (有酸素運動を中心に)		<p>【学習内容】 体力とは何か、身体活動は体力とどのように関係しているかを説明する。</p> <p>【事前学習】 どのような身体活動がどのような体力に影響を及ぼすのかを考え、必要に応じて、書籍や論文を通して調べてくる</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める。また、日常生活活動への応用する</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
5 メンタルヘルスと身体活動		<p>【学習内容】 身体活動とメンタルヘルスがどのように関係しているかを説明する。</p> <p>【事前学習】 どのような身体活動がどのようなメンタルに影響を及ぼすのかを考え、必要に応じて、書籍や論文を通して調べてくる</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める。また、日常生活活動への応用する</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>
6 身体活動と生活習慣病		<p>【学習内容】 身体活動と生活習慣病との関係を、先行研究の結果を紹介しながら、説明する。</p> <p>【事前学習】 新聞や書籍、論文等を通じて、身体活動が生活習慣に及ぼす何らかの肯定的な効果を調べてくる。</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める。また、日常生活活動への応用する。</p> <p>（事前学習） 1 時間 （事後学習） 1 時間</p>

7	スポーツを「観る」「支える」	<p>【学習内容】 オリンピックを事例にスポーツ文化の発展について説明する。</p> <p>【事前学習】 スポーツは行うことのみならず、観る、支えるも重要な活動であることから、自身の観る・支えるを整理する。</p> <p>【事後学習】 講義の内容を振り返り、理解を深める</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
8	まとめ	<p>【学習内容】 これまで講義内容を振り返りながら、試験対策の講義を行う。</p> <p>【事前学習】 これまでの7回の講義におけるノートを整理する</p> <p>【事後学習】 講義の内容を整理しながら、試験に向けて準備する</p> <p>(事前学習) 2 時間 (事後学習) 3 時間</p>
9	試験	

科目名	担当代表教員	学年	期別	形態	必選	単位数
日本国憲法	平嶋 一臣	2	後期	講義	選択	2
	担当形態	単独	ナンバリング		CE2101	
	担当教員	平嶋 一臣				
<b>【キーワード】</b>	<b>【概要】</b>					
1 国民主権	<p>国の在り方の基盤となる日本国憲法は、国民の日々の生活と深いつながりを持っている。しかし、我々は普段このことを意識して過ごすことは極めて少ない。そこで、法治国家における基本的理念を示す憲法を再認識するとともに、その設立の趣旨およびその具体的な運用の在り方について、我々は一国民として理解し納得する必要がある。</p> <p>授業では、憲法と各法との関連およびその解釈について、最新の様々な具体的事例を基に、憲法の理念と絡めつつ多面的に考察していく。</p>					
2 象徴天皇						
3 基本的人権						
4 平和主義						
5 三権分立						
<b>【到達目標】</b>						
1. 日本国憲法の基本原理を理解することができる。 2. 日本国憲法の制定過程を理解し、昨今起きている社会的な問題との関係性を考えることができる。 3. 日本国憲法と各法とのつながりを理解し、法治国家に生きる一員としての自覚を持つことができる。						
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>						関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>						
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。						○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。						○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。						
<b>【思考・判断・表現】</b>						
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。						○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。						
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。						
<b>【関心・意欲・態度】</b>						
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。						○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。						
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。						○
<b>【成績評価の方法】</b>						
成績指標	定期試験		課題レポート			合計
評価割合 (%)	70		30			100
<b>【成績評価の基準】</b>						
評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	
評語	S	A	B	C	E	F
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0
<b>【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】</b>						
毎時間の始めに前時の課題レポートを採りあげ、受講生の考え方の違いを尊重しつつ、豊かで新たな発想による本時課題を高めるようその具体的な方法に努める。						
<b>【教科書】</b>						
毎時間、本時の中心的課題に関する資料を作成し配布する。						
<b>【参考書・参考資料等】</b>						
伊藤正己『憲法入門』有斐閣双書2018年 野中俊彦・江橋崇『憲法判例集』有斐閣新書2012年 池上彰『憲法はむずかしくない』ちくまプリマー新書2006年 毛利透『グラフィック憲法入門』新世社2018年						
<b>【関連科目】</b>						
「社会福祉」 「社会的養護」 「教育原理」						
<b>【受講心得】</b>						
集中した授業への取り組みを期待する。課題提出は出席確認を兼ねるので授業後必ず提出すること。						
<b>【備考】</b>						
授業内容に関する質問等は、授業終了後またはあらかじめ予約を入れて来訪のこと。						

【学習項目】		担当	学習内容、事前・事後学習（学習時間）
1	オリエンテーション 日本国憲法の構成および前文に込められた憲法の設立理念 明治憲法との比較		<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法（新憲法）の成り立ちを理解する。明治憲法（旧憲法）と比較しその理念を理解する。 &lt;事前学習&gt;シラバスに目を通し、今後15回の授業全体の流れを掴む。 &lt;事後学習&gt;本時の学びを復習し、本時配布資料『日本国憲法』中の前文を確認する。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
2	国民主権と象徴天皇制		<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法上の国民の位置とその在り方を理解する。象徴天皇の意味と国事行為の範囲を理解する。 &lt;事前学習&gt;憲法第一条～第八条までを読み、その内容を掴むとともに自らの主体的な意見を持つておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
3	平和主義とその解釈		<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法の三本柱の一つである『平和主義』について、憲法第九条を基にさまざまな考え方・解釈があることを理解し、国民の一人として自分の考えを持つ。 &lt;事前学習&gt;憲法第二章第九条を読み返し「戦力」「自衛権」について主体的な意見をもつておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
4	日本国憲法の基本原理① 個人の尊重		<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法における『個人の尊重』に込められた基本的理念とその普遍的価値（人権・民主・平和）について理解する。 &lt;事前学習&gt;憲法第三章第十三条を読み返し「個性ある人格の価値」について主体的な解釈をもつておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
5	日本国憲法の基本原理② 法の支配と人権		<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法の基本理念である「人から法の支配へ」の考え方を学び、民主主義の在り方について理解する。 &lt;事前学習&gt;憲法第十章第九十七～九十九条を読み「人の支配」から「法の支配」への変遷過程とその理由について主体的な解釈を持つておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
6	基本的人権とは何か		<p>&lt;学習内容&gt; 『基本的人権』の考え方が生まれた背景と内容そして限界について考え、日本国憲法の基本的な理念について理解する。 &lt;事前学習&gt;憲法第三章第十～四十条を何度も読み、『基本的人権』の視点について主体的な意見をもつておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
7	表現の自由		<p>&lt;学習内容&gt;『表現の自由』の範囲を考え、それが他の人権を侵す場合（公共の福祉）の制約について理解する。 &lt;事前学習&gt;憲法第二十一条を読み「表現の自由」「知る権利」「情報公開請求」について主体的な意見をもつておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
8	信教の自由		<p>&lt;学習内容&gt; 『信教の自由』とは何か。「自由権」の生まれてきた背景を考え、日本国憲法下における政教分離の考え方について理解する。 &lt;事前学習&gt;憲法第二十条を読み「信教の自由」および日本国憲法下における政教分離の考え方について主体的な意見をもつておく。 &lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。 (事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>

9	職業の自由・財産権	<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法下における『職業の自由』についての理念について理解し、『財産権』の保障と補償について判例を基に考える。</p> <p>&lt;事前学習&gt;憲法第二十二条・二十九条を読み、その基本理念について主体的な意見をもっておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
10	社会権 (生存権・教育を受ける権利・労働基本権)	<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法の中での『社会権』について理解し、この権利の領域の広さと我々の日頃の生活との身近さとの関連を考える。</p> <p>&lt;事前学習&gt;憲法第二十五条～二十八条を読み、その基本理念について主体的な意見をもっておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
11	日本国憲法下の権力分立	<p>&lt;学習内容&gt; 「統治機能」としての権力分立の理念とその思想および歴史的経過について考える。</p> <p>&lt;事前学習&gt;モンテスキュー『法の精神』の概略について、あらかじめ調べておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
12	国会 (立法権)	<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法が定める国会の地位・権限および国民の代弁者としての国会議員の在り方を考える。</p> <p>&lt;事前学習&gt;憲法第四章第四十一条～六十四条を読み、その基本理念について主体的な意見をもっておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
13	内閣 (行政権)	<p>&lt;学習内容&gt; 日本国憲法に定める内閣の役割および総理大臣のリーダーシップの役割と責任について考える。</p> <p>&lt;事前学習&gt;憲法第五章第六十五条～七十五条を読み、その基本理念について主体的な意見をもっておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
14	裁判所 (司法権)	<p>&lt;学習内容&gt; 司法権の独立の意義について理解し、違憲審査権・国民審査の行使の重要性について考える。</p> <p>&lt;事前学習&gt;憲法第六章第七十六条～八十二条を読み、その基本理念について主体的な意見をもっておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
15	地方自治・憲法改正 定期試験についての予告	<p>&lt;学習内容&gt; 地方自治・地方分権の確立および厳しい規定を設けられている日本国憲法の改正規定の理念について理解する。</p> <p>&lt;事前学習&gt;憲法第八章第九十二条～九十六条を読み、その基本理念について意見をもっておく。</p> <p>&lt;事後学習&gt;返却されたレポートを基に本時の学びを復習し、新しい疑問点についてまとめておく。</p> <p>(事前学習) 1 時間 (事後学習) 1 時間</p>
16	定期試験 (小論文を含む筆記試験)	持ち込み不可